

#### ④環境の未来

環境の未来		順調 A	概ね順調 B	遅れ C	見直し D	把握困難 -
1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3. いのちの源としての水環境の充実	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	11	3 (27.0%)	5 (45.0%)	3 (27.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

- ・ 11の施策のうち8の施策の体系が順調または概ね順調との結果であった。
- ・ 「1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実」「2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実」において、生活道路や住環境の整備が進んだ一方で、広域的な幹線道路整備については具体的検討に至らなかった。
- ・ 「4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造」「6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり」において、自然環境の保全や循環型社会の形成への住民意識向上の取組みが求められる。

1. 魅力的で住みやすい生活環境の充実

施策コード	P4101																
評価	施策の体系	施策の方針															
A	①質の高い住環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画に基づき公営住宅を適切に維持管理し、良好な生活環境を維持・形成する住宅政策を推進します。</li> <li>・質の高い住宅・宅地供給の誘導を進めます。</li> <li>・空き家バンクの強化など、空き家を活用した住まいの提供を進めます。</li> </ul>															
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> <tr> <td>建設下水道課</td> <td>公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保、空き家活用事業</td> <td colspan="2">公営住宅等長寿命化計画に基づき公営住宅ストックの長寿命化を実施し、ライフサイクルコストの縮減と公営住宅・町有住宅などの事業へ向けた環境整備を推進した。空き家バンク促進補助金により空き家活用を促進し、年間登録戸数は7戸であった。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">耐用年数が大幅に過ぎた公営住宅を用途廃止する場合、集約できる空き部屋が少なく、代替住宅確保が困難。 物件登録希望者は売買の相談が主であるが、利用希望者においては賃貸物件に関する問い合わせが多く、利用希望者のニーズに沿えないケースが増えている。</td> <td colspan="2">氷川町公営住宅等長寿命化計画に基づき、維持管理と用途廃止、新規建設を行いながら目的別に住宅を確保する。また、公営住宅等を用途廃止した場合の土地活用方法について、適切な住宅づくり及び住まいの確保への活用を検討する。 移住定住を目的とした利活用検討の一つとして空き家バンクを提示し、ニーズに応じた物件を紹介できるように、登録物件数を増加させる。</td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果		建設下水道課	公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保、空き家活用事業	公営住宅等長寿命化計画に基づき公営住宅ストックの長寿命化を実施し、ライフサイクルコストの縮減と公営住宅・町有住宅などの事業へ向けた環境整備を推進した。空き家バンク促進補助金により空き家活用を促進し、年間登録戸数は7戸であった。		■課題		■次年度への展開		耐用年数が大幅に過ぎた公営住宅を用途廃止する場合、集約できる空き部屋が少なく、代替住宅確保が困難。 物件登録希望者は売買の相談が主であるが、利用希望者においては賃貸物件に関する問い合わせが多く、利用希望者のニーズに沿えないケースが増えている。		氷川町公営住宅等長寿命化計画に基づき、維持管理と用途廃止、新規建設を行いながら目的別に住宅を確保する。また、公営住宅等を用途廃止した場合の土地活用方法について、適切な住宅づくり及び住まいの確保への活用を検討する。 移住定住を目的とした利活用検討の一つとして空き家バンクを提示し、ニーズに応じた物件を紹介できるように、登録物件数を増加させる。
■主な事業		■主な成果															
建設下水道課	公営住宅等ストックの長寿命化事業（公営住宅建て替えなどへむけた環境整備の推進）、建築協定による適切な住宅づくり（宅地分譲など）及び住まいの確保、空き家活用事業	公営住宅等長寿命化計画に基づき公営住宅ストックの長寿命化を実施し、ライフサイクルコストの縮減と公営住宅・町有住宅などの事業へ向けた環境整備を推進した。空き家バンク促進補助金により空き家活用を促進し、年間登録戸数は7戸であった。															
■課題		■次年度への展開															
耐用年数が大幅に過ぎた公営住宅を用途廃止する場合、集約できる空き部屋が少なく、代替住宅確保が困難。 物件登録希望者は売買の相談が主であるが、利用希望者においては賃貸物件に関する問い合わせが多く、利用希望者のニーズに沿えないケースが増えている。		氷川町公営住宅等長寿命化計画に基づき、維持管理と用途廃止、新規建設を行いながら目的別に住宅を確保する。また、公営住宅等を用途廃止した場合の土地活用方法について、適切な住宅づくり及び住まいの確保への活用を検討する。 移住定住を目的とした利活用検討の一つとして空き家バンクを提示し、ニーズに応じた物件を紹介できるように、登録物件数を増加させる。															

施策コード	P4102												
評価	施策の体系	施策の方針											
B	②移住定住に向けた魅力的な生活環境整備と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住の促進に向けて、魅力的な生活環境整備を進めます。</li> <li>・移住定住の促進に向けた情報発信やイベントを開催します。</li> <li>・本町の魅力や強みを知ってもらう総合的なブランディングに取り組み、多様なデジタルプロモーションによる情報発信強化を推進します。</li> </ul>											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> <tr> <td>地域振興課</td> <td>婚活応援事業、移住総合情報発信ツール制作事業、移住者に対する支援策の創設、地区環境の保全と受け入れ態勢の検討</td> <td colspan="2">東京、大阪、福岡で開催された対面式の移住相談会に参加し、町のPR等を実施し、空き家バンクや移住支援金など町の支援策を利用した移住が4件あった。</td> </tr> <tr> <td>企画財政課</td> <td>町の魅力発信事業</td> <td colspan="2">町公式LINE機能拡張システムを活用してチャットボットを開始するなど、情報発信の強化を行った。ひかりんのイベント出演のほか、PR用のシールを作成した。</td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果		地域振興課	婚活応援事業、移住総合情報発信ツール制作事業、移住者に対する支援策の創設、地区環境の保全と受け入れ態勢の検討	東京、大阪、福岡で開催された対面式の移住相談会に参加し、町のPR等を実施し、空き家バンクや移住支援金など町の支援策を利用した移住が4件あった。		企画財政課	町の魅力発信事業	町公式LINE機能拡張システムを活用してチャットボットを開始するなど、情報発信の強化を行った。ひかりんのイベント出演のほか、PR用のシールを作成した。
■主な事業		■主な成果											
地域振興課	婚活応援事業、移住総合情報発信ツール制作事業、移住者に対する支援策の創設、地区環境の保全と受け入れ態勢の検討	東京、大阪、福岡で開催された対面式の移住相談会に参加し、町のPR等を実施し、空き家バンクや移住支援金など町の支援策を利用した移住が4件あった。											
企画財政課	町の魅力発信事業	町公式LINE機能拡張システムを活用してチャットボットを開始するなど、情報発信の強化を行った。ひかりんのイベント出演のほか、PR用のシールを作成した。											

■課 題	■次年度への展開
<p>【地域振興課】定住自立圏の3市町をそれぞれ会場に婚活イベントを開催できたが、町内在住者の参加者がなかった。空き家バンクの登録も売却が多く賃貸としての物件が少ない。また、地区での受け入れ体制整備では地区との協議が不足している。</p> <p>【企画財政課】ホームページ全体のアクセス件数は年々増加しているが、より見てもらう・より興味を持ってもらうために掲載情報の整理や見直しが必要である。特に町外での氷川町認知度が低いので、SNSでの発信も絡め、効果的な情報発信の在り方を検討していかなければならない。</p>	<p>【地域振興課】定住自立圏婚活事業については、地元参加者枠を設けるとともに、周知方法を検討する。地区環境の保全と受け入れ態勢の検討については、事業実施のための詳細部分の検討を行い、空き家バンクの制度周知と合わせて各地区の区長等に周知していく。</p> <p>【企画財政課】町のPRのためのパンフレットと動画を令和7年度までに作成するが、移住定住促進に向けた町の魅力を伝える重要なツールとして活用しながら、既存のホームページやSNSでも積極的に情報発信を継続して行っていく。</p>

## 成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
町営住宅などの長寿命化型整備率 (%)	77%	77					100%
空き家バンクの登録戸数 (新規) (戸)	28戸	7					40戸
移住施策活用による移住者総数 (人) ※ H29年からの累積値	37人	47					108人

## 2. 暮らしを支えるまちの基盤の充実

施策コード	P4201																
評価	施策の体系	施策の方針															
B	①便利で快適な生活道路の充実と幹線道路ネットワークの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の状況に応じた生活道路網の充実を図ります。</li> <li>・広域的な幹線道路ネットワークの確立へ向け、国・県・周辺自治体との調整に努めるとともに、町内の骨格となる生活幹線道路の計画的な整備を推進します。</li> </ul>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設下水道課</td> <td>道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進、新幹線新駅南北アクセス道路整備事業、シンボル道路整備事業、宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業、生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業</td> <td colspan="2">町民生活における交通環境の改善を図り、地域住民が安心して生活できる道路網を構築する。地区要望及び道路パトロール等により確認できた舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修・架け替えを行った。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、工期が年度末となり職員や請負業者の負担となっている。また、町内道路の舗装や構造物などに老朽化が見られるため計画的な維持修繕の実施が喫緊の課題である。</td> <td colspan="2">発注者・受注者の負担を軽減し適切な工期を確保するため、発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。修繕・工事において、地区の要望を達成する。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果		建設下水道課	道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進、新幹線新駅南北アクセス道路整備事業、シンボル道路整備事業、宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業、生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業	町民生活における交通環境の改善を図り、地域住民が安心して生活できる道路網を構築する。地区要望及び道路パトロール等により確認できた舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修・架け替えを行った。		■課題		■次年度への展開		農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、工期が年度末となり職員や請負業者の負担となっている。また、町内道路の舗装や構造物などに老朽化が見られるため計画的な維持修繕の実施が喫緊の課題である。		発注者・受注者の負担を軽減し適切な工期を確保するため、発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。修繕・工事において、地区の要望を達成する。
■主な事業		■主な成果															
建設下水道課	道路施設の充実（道路新設改良業務）、道路維持管理事業（道路・橋りょう等維持修繕業務）、住民参加による維持管理の推進、新幹線新駅南北アクセス道路整備事業、シンボル道路整備事業、宇城氷川スマートインターチェンジへのアクセス道路整備事業、生活幹線道路ネットワーク計画策定・整備事業	町民生活における交通環境の改善を図り、地域住民が安心して生活できる道路網を構築する。地区要望及び道路パトロール等により確認できた舗装の維持修繕、道路橋りょうの法定近接目視点検並びに点検結果に応じた橋梁の補修・架け替えを行った。															
■課題		■次年度への展開															
農閑期や休校時期に工事発注せざるを得ず、工期が年度末となり職員や請負業者の負担となっている。また、町内道路の舗装や構造物などに老朽化が見られるため計画的な維持修繕の実施が喫緊の課題である。		発注者・受注者の負担を軽減し適切な工期を確保するため、発注件数に応じた発注時期の平準化を採用する。修繕・工事において、地区の要望を達成する。															

施策コード	P4202												
評価	施策の体系	施策の方針											
A	②交通弱者を支える公共交通網の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者をはじめとする交通弱者が必要とする交通手段を調査・検討し、公共交通網の充実を図ります。</li> <li>・既存の公共交通機関を補完するデマンド型地域交通システムの検討を行います。</li> </ul>											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務課</td> <td>既存のバスサービス整備事業</td> <td colspan="2">既存の住民の公共交通機関を確保するため、路線バス事業者への補助金を継続して交付した。</td> </tr> <tr> <td>福祉課</td> <td>交通手段の確保</td> <td colspan="2">一定の条件のもと、毎年約200名の方がタクシー利用料金助成事業を利用し交通手段の一助となっているが、利用決定後にタクシー券を役場庁舎まで受け取りに来てもらわなければならないため、別の方法で交付ができないか検討を行った。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果		総務課	既存のバスサービス整備事業	既存の住民の公共交通機関を確保するため、路線バス事業者への補助金を継続して交付した。		福祉課	交通手段の確保	一定の条件のもと、毎年約200名の方がタクシー利用料金助成事業を利用し交通手段の一助となっているが、利用決定後にタクシー券を役場庁舎まで受け取りに来てもらわなければならないため、別の方法で交付ができないか検討を行った。
■主な事業		■主な成果											
総務課	既存のバスサービス整備事業	既存の住民の公共交通機関を確保するため、路線バス事業者への補助金を継続して交付した。											
福祉課	交通手段の確保	一定の条件のもと、毎年約200名の方がタクシー利用料金助成事業を利用し交通手段の一助となっているが、利用決定後にタクシー券を役場庁舎まで受け取りに来てもらわなければならないため、別の方法で交付ができないか検討を行った。											

■課 題	■次年度への展開
<p>【総務課】バス事業者の経営悪化に伴い町の赤字補てん額も増加傾向にある。</p>	<p>【総務課】交通弱者の生活交通の維持という面では、路線バスの維持は非常に重要であるため補助金を継続して交付する。  【福祉課】現在の対象者要件や助成金額について、利用者の声を聞きながら見直しを行っていく。</p>

## 成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
シンボル道路 (町道北川反甫北鹿野線) 整備進捗率 (%)	25%	50					100%
改良済道路延長 (m)	199,140m	200,414					200,740m
路線バス系統維持 (路線)	5 路線 (R4)	5					5 路線
交通手段支援実施人数 (人)	191人	201					300人

### 3. いのちの源としての水環境の充実

施策コード	P4301	
評価	施策の体系	施策の方針
A	①豊かな水環境の維持・改善に向けた活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域での水環境に関わる学習機会を創出し、環境に負荷をかけない暮らしや産業活動のあり方を考え、実践する意識を育んでいきます。</li> <li>・氷川の流域全体で活動組織と官民が連携して、水源の森から海までの河川に関わる環境改善の活動を推進します。</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
企画財政課	氷川を楽しむための総合的な環境整備の推進、氷川に親しむ学習機会の創出、氷川流域関係団体と連携した水辺環境づくりの推進	清流氷川流域対策協議会で、八代市、関係団体と一体となり、清掃活動や小学生を対象とした体験学習会などを実施した。氷川流域の清掃には町職員や関係団体が参加した。
町民課	EM発酵液普及・啓発活動事業、水を大切にす意識啓発の推進	人と環境にやさしい「EM発酵液」を環境学習の一環として町内全小中学校で活用した。
地域振興課	川沿いの緑化支援	河川沿いの地区においては、行政区活動活性化交付金による河川環境の改善、河川沿いの環境維持に取り組まれている。また、用水路も含めて取り組まれている地区もある。
■課題		■次年度への展開
<p>【企画財政課】清掃活動、体験学習会ともに参加者が少なく、町民の一部の活動に限られている。</p> <p>【町民課】環境学習等でEM発酵液の効果などを啓発しているのは一部に留まっている。</p>		<p>【企画財政課】継続的な活動となるよう参加者や内容の再考が必要である。</p> <p>【町民課】広報紙やホームページ、SNSの活用および宮原まちづくり株式会社と連携した啓発を実施し、各家庭での普及を図る。また、小中学校へのEM発酵液の配布を継続的に実施しながら、環境学習等での啓発を全校で実施してもらう。</p>

施策コード	P4302																				
評価	施策の体系	施策の方針																			
B	②水の環境を守り、育み、親しむための水環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭排水による水質汚濁を低減するために、各家庭や事業所の下水道への接続を促進していきます。</li> <li>・河川敷や護岸、堤防沿いの道、さらにその川沿いの地域の環境をできる限り自然に近い状態に改善し、水に親しめる身近な水辺の環境整備や活用を推進します。</li> </ul>																			
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> <tr> <td>建設下水道課</td> <td>下水道処理の広域化推進事業、下水道施設維持・更新業務、生活排水対策事業、加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業、水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出、農集維持管理事業</td> <td colspan="2">松本橋公園、浜牟田橋公園などの維持管理を行い、子供から高齢者まで日常的に水と親しむ機会を増やし、自然環境保全の意識高揚を図った。八代市東陽町の排水・雨水『立神峡』に直接流入しないよう東陽農業集落排水処理施設圧送放流施設を維持管理した。宮原処理区の下水道施設において老朽化が顕著であり、ストックマネジメント計画に基づき低コストで合理的な維持管理を行っている。</td> </tr> <tr> <td>町民課</td> <td>生活排水対策事業</td> <td colspan="2">氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境負荷の少ない合併浄化槽へ転換を推進している。令和5年度実績は、転換1基（7人槽）、新設1基（7人槽）であった。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【建設下水道課】圧送放流施設の老朽化により、更新のため継続的な予算確保が必要。</p> <p>【町民課】氷川町浄化槽設置整備事業補助金により合併浄化槽への転換を推進しているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭も多い状況。</p> </td> <td colspan="2"> <p>【建設下水道課】公園維持管理では年間の草刈等の回数を増やし適正管理を実施する。下水道事業は公営企業会計に移行し、更なる事業の経営安定を目指すために、低コスト及び合理的な事業を目標に進めていく。</p> <p>【町民課】広報紙・ホームページ等を活用した氷川町浄化槽設置整備事業補助金の制度周知と、宅内配管工事を補助対象にするなど、補助制度の一部見直しを検討し転換促進につなげる。</p> </td> </tr> </table>		■主な事業		■主な成果		建設下水道課	下水道処理の広域化推進事業、下水道施設維持・更新業務、生活排水対策事業、加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業、水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出、農集維持管理事業	松本橋公園、浜牟田橋公園などの維持管理を行い、子供から高齢者まで日常的に水と親しむ機会を増やし、自然環境保全の意識高揚を図った。八代市東陽町の排水・雨水『立神峡』に直接流入しないよう東陽農業集落排水処理施設圧送放流施設を維持管理した。宮原処理区の下水道施設において老朽化が顕著であり、ストックマネジメント計画に基づき低コストで合理的な維持管理を行っている。		町民課	生活排水対策事業	氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境負荷の少ない合併浄化槽へ転換を推進している。令和5年度実績は、転換1基（7人槽）、新設1基（7人槽）であった。		■課題		■次年度への展開		<p>【建設下水道課】圧送放流施設の老朽化により、更新のため継続的な予算確保が必要。</p> <p>【町民課】氷川町浄化槽設置整備事業補助金により合併浄化槽への転換を推進しているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭も多い状況。</p>		<p>【建設下水道課】公園維持管理では年間の草刈等の回数を増やし適正管理を実施する。下水道事業は公営企業会計に移行し、更なる事業の経営安定を目指すために、低コスト及び合理的な事業を目標に進めていく。</p> <p>【町民課】広報紙・ホームページ等を活用した氷川町浄化槽設置整備事業補助金の制度周知と、宅内配管工事を補助対象にするなど、補助制度の一部見直しを検討し転換促進につなげる。</p>
■主な事業		■主な成果																			
建設下水道課	下水道処理の広域化推進事業、下水道施設維持・更新業務、生活排水対策事業、加入促進対策事業、水洗便所改造促進事業、水辺の公園の維持管理と水に親しむ機会の創出、農集維持管理事業	松本橋公園、浜牟田橋公園などの維持管理を行い、子供から高齢者まで日常的に水と親しむ機会を増やし、自然環境保全の意識高揚を図った。八代市東陽町の排水・雨水『立神峡』に直接流入しないよう東陽農業集落排水処理施設圧送放流施設を維持管理した。宮原処理区の下水道施設において老朽化が顕著であり、ストックマネジメント計画に基づき低コストで合理的な維持管理を行っている。																			
町民課	生活排水対策事業	氷川町浄化槽設置整備事業補助金を活用し、汲み取り槽・単独処理浄化槽から環境負荷の少ない合併浄化槽へ転換を推進している。令和5年度実績は、転換1基（7人槽）、新設1基（7人槽）であった。																			
■課題		■次年度への展開																			
<p>【建設下水道課】圧送放流施設の老朽化により、更新のため継続的な予算確保が必要。</p> <p>【町民課】氷川町浄化槽設置整備事業補助金により合併浄化槽への転換を推進しているが、汲み取り槽・単独処理浄化槽の家庭も多い状況。</p>		<p>【建設下水道課】公園維持管理では年間の草刈等の回数を増やし適正管理を実施する。下水道事業は公営企業会計に移行し、更なる事業の経営安定を目指すために、低コスト及び合理的な事業を目標に進めていく。</p> <p>【町民課】広報紙・ホームページ等を活用した氷川町浄化槽設置整備事業補助金の制度周知と、宅内配管工事を補助対象にするなど、補助制度の一部見直しを検討し転換促進につなげる。</p>																			

## 成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
川沿いの緑化取組地区数	4地区	8					6地区
清流氷川における清掃活動参加人数 (人)	27人	20					50人
流域編入進捗率 (%)	50.0%	60.0					100.0%
水洗化率 (%)	79.6%	83.7					90.0%

#### 4. みどりに囲まれた豊かな環境の創造

施策コード	P4401																				
評価	施策の体系	施策の方針																			
B	①住民と協働で行う公園をはじめとする緑化空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各地区での身近な緑化や花いっぱい運動などの住民の自主的な活動を支援していきます。</li> <li>・身近な地区の公園・憩いの空間づくりについて、地区別計画に基づくまちづくり活動と整合した支援をしていきます。</li> </ul>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域振興課</td> <td>花いっぱい運動の推進、各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備、立神峡公園施設の活用・維持管理</td> <td colspan="2">花いっぱい運動の活動が各地区において実施されており、事業の定着が見られる。</td> </tr> <tr> <td>農地課</td> <td>多面的機能支払交付金事業【再掲】</td> <td colspan="2">実施地区数も現在30地区となり、共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理が適切に行われた。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【地域振興課】憩いの場を整備後の維持や管理の問題があり着手しづらい事業となっている。</p> <p>【農地課】農家の高齢化や人口減少により、将来的に農地・水路等の維持管理が困難となる集落組織も出てくることが想定される。</p> </td> <td colspan="2"> <p>【地域振興課】未実施地区への地区づくり補助金及びくまもと緑・景観共同機構の花いっぱい運動支援事業を周知し活用を促進する。</p> <p>【農地課】令和4年度より新たな5カ年計画の実施となっており、土地改良区や広域協定との連携を継続し事業を実施していく。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果		地域振興課	花いっぱい運動の推進、各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備、立神峡公園施設の活用・維持管理	花いっぱい運動の活動が各地区において実施されており、事業の定着が見られる。		農地課	多面的機能支払交付金事業【再掲】	実施地区数も現在30地区となり、共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理が適切に行われた。		■課題		■次年度への展開		<p>【地域振興課】憩いの場を整備後の維持や管理の問題があり着手しづらい事業となっている。</p> <p>【農地課】農家の高齢化や人口減少により、将来的に農地・水路等の維持管理が困難となる集落組織も出てくることが想定される。</p>		<p>【地域振興課】未実施地区への地区づくり補助金及びくまもと緑・景観共同機構の花いっぱい運動支援事業を周知し活用を促進する。</p> <p>【農地課】令和4年度より新たな5カ年計画の実施となっており、土地改良区や広域協定との連携を継続し事業を実施していく。</p>
■主な事業		■主な成果																			
地域振興課	花いっぱい運動の推進、各地区における憩いの空間づくり事業、公共サインの検討及び整備、立神峡公園施設の活用・維持管理	花いっぱい運動の活動が各地区において実施されており、事業の定着が見られる。																			
農地課	多面的機能支払交付金事業【再掲】	実施地区数も現在30地区となり、共同による農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理が適切に行われた。																			
■課題		■次年度への展開																			
<p>【地域振興課】憩いの場を整備後の維持や管理の問題があり着手しづらい事業となっている。</p> <p>【農地課】農家の高齢化や人口減少により、将来的に農地・水路等の維持管理が困難となる集落組織も出てくることが想定される。</p>		<p>【地域振興課】未実施地区への地区づくり補助金及びくまもと緑・景観共同機構の花いっぱい運動支援事業を周知し活用を促進する。</p> <p>【農地課】令和4年度より新たな5カ年計画の実施となっており、土地改良区や広域協定との連携を継続し事業を実施していく。</p>																			

施策コード	P4402																
評価	施策の体系	施策の方針															
C	②良好な環境づくりに向けた景観形成や計画的な土地利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり条例による景観づくりや助成制度を検討し、田園から里山まで、地区の特性に合わせた景観づくりへ向けた取組を推進します。</li> <li>・土地利用に関する計画に基づく適正な土地利用を誘導するための取組や住民意識の向上に努めます。</li> </ul>															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域振興課</td> <td>景観に関する助成制度の検討、建築協定条例の活用、国土利用計画（氷川町）・土地利用計画の運用、まちづくり条例の運用</td> <td colspan="2">県が勧める景観計画や景観条例の中で検討すべきであるが、まちづくり条例との関係から検討に至っていない。建築協定条例の町内でのエリアや地域を指定しての協定制定の動きは見られない。まちづくり条例は、まちづくり会議で話し合いした内容をもとに事業予定者に協力を得て適切な手続きを進めた。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2">景観に関して現状住民からの要望はない。宮原地区のみが該当となっているまちづくり条例を整理する必要がある。</td> <td colspan="2">県が進める景観計画を検討するとともに、それに伴う助成制度等も確認する必要がある。また、建築協定条例については、まちづくり条例とともに制度を見直す必要がある。</td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果		地域振興課	景観に関する助成制度の検討、建築協定条例の活用、国土利用計画（氷川町）・土地利用計画の運用、まちづくり条例の運用	県が勧める景観計画や景観条例の中で検討すべきであるが、まちづくり条例との関係から検討に至っていない。建築協定条例の町内でのエリアや地域を指定しての協定制定の動きは見られない。まちづくり条例は、まちづくり会議で話し合いした内容をもとに事業予定者に協力を得て適切な手続きを進めた。		■課題		■次年度への展開		景観に関して現状住民からの要望はない。宮原地区のみが該当となっているまちづくり条例を整理する必要がある。		県が進める景観計画を検討するとともに、それに伴う助成制度等も確認する必要がある。また、建築協定条例については、まちづくり条例とともに制度を見直す必要がある。
■主な事業		■主な成果															
地域振興課	景観に関する助成制度の検討、建築協定条例の活用、国土利用計画（氷川町）・土地利用計画の運用、まちづくり条例の運用	県が勧める景観計画や景観条例の中で検討すべきであるが、まちづくり条例との関係から検討に至っていない。建築協定条例の町内でのエリアや地域を指定しての協定制定の動きは見られない。まちづくり条例は、まちづくり会議で話し合いした内容をもとに事業予定者に協力を得て適切な手続きを進めた。															
■課題		■次年度への展開															
景観に関して現状住民からの要望はない。宮原地区のみが該当となっているまちづくり条例を整理する必要がある。		県が進める景観計画を検討するとともに、それに伴う助成制度等も確認する必要がある。また、建築協定条例については、まちづくり条例とともに制度を見直す必要がある。															

## 成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
花いっぱい運動 取組地区数 (地区)	15地区	17					20地区
憩いの場づくりに取り組む地区 (地区)	0地区	0					3地区
竜北公園の来園者数 (人)	46,000人	36,942					80,000人
まちづくり条例などによる景観形成件数 (件)	2件	1					5件

## 5. 豊かな自然を活かした環境学習の仕組みづくり

施策コード	P4501																				
評価	施策の体系	施策の方針																			
B	①豊かな自然とそこで育まれた歴史・生活文化を活かした環境学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山から海までの自然資源を活かした環境学習のプログラム及び実施体制の充実を図ります。</li> <li>・里山環境の保全をハード（公園化）とソフト（環境学習）の両面から保全・活用する取組や体制づくりを進めます。</li> <li>・様々な環境保全活動の人材を育成し、住民主体の活動の推進を支援します。</li> </ul>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">■主な事業</th> <th colspan="2">■主な成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域振興課</td> <td>里山暮らしの体験、竜北公園周辺における里山活用の推進、立神峡公園における環境学習による里山環境の改善、里山環境インストラクターの養成・発掘</td> <td colspan="2">立神峡公園において里山フェスタを開催予定であったが、荒天により中止となった。</td> </tr> <tr> <td>企画財政課</td> <td>学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施</td> <td colspan="2">「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議と清流氷川流水対策協議会の共催で、松本橋公園周辺において清掃活動を実施し、一般参加者のほか竜北漁協組合員、ジュニアリーダー、関係課職員などが参加した。</td> </tr> <tr> <th colspan="2">■課題</th> <th colspan="2">■次年度への展開</th> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>【地域振興課】 広い世代への体験の場の提供が必要。</p> <p>【企画財政課】 町内の小学校へのチラシ配布、清掃活動については広報紙への掲載を通して周知を行っているが、一般の参加者が少ない状況。</p> </td> <td colspan="2"> <p>【地域振興課】 立神峡公園における環境教育事業の事業内容や開催時期を検討、支援していく。</p> <p>【企画財政課】 事業への参加者を増やすため、各種団体への働きかけなど周知の方法を検討する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		■主な事業		■主な成果		地域振興課	里山暮らしの体験、竜北公園周辺における里山活用の推進、立神峡公園における環境学習による里山環境の改善、里山環境インストラクターの養成・発掘	立神峡公園において里山フェスタを開催予定であったが、荒天により中止となった。		企画財政課	学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施	「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議と清流氷川流水対策協議会の共催で、松本橋公園周辺において清掃活動を実施し、一般参加者のほか竜北漁協組合員、ジュニアリーダー、関係課職員などが参加した。		■課題		■次年度への展開		<p>【地域振興課】 広い世代への体験の場の提供が必要。</p> <p>【企画財政課】 町内の小学校へのチラシ配布、清掃活動については広報紙への掲載を通して周知を行っているが、一般の参加者が少ない状況。</p>		<p>【地域振興課】 立神峡公園における環境教育事業の事業内容や開催時期を検討、支援していく。</p> <p>【企画財政課】 事業への参加者を増やすため、各種団体への働きかけなど周知の方法を検討する。</p>
■主な事業		■主な成果																			
地域振興課	里山暮らしの体験、竜北公園周辺における里山活用の推進、立神峡公園における環境学習による里山環境の改善、里山環境インストラクターの養成・発掘	立神峡公園において里山フェスタを開催予定であったが、荒天により中止となった。																			
企画財政課	学校や地域での海に関わる学習機会や一斉清掃の実施	「八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議と清流氷川流水対策協議会の共催で、松本橋公園周辺において清掃活動を実施し、一般参加者のほか竜北漁協組合員、ジュニアリーダー、関係課職員などが参加した。																			
■課題		■次年度への展開																			
<p>【地域振興課】 広い世代への体験の場の提供が必要。</p> <p>【企画財政課】 町内の小学校へのチラシ配布、清掃活動については広報紙への掲載を通して周知を行っているが、一般の参加者が少ない状況。</p>		<p>【地域振興課】 立神峡公園における環境教育事業の事業内容や開催時期を検討、支援していく。</p> <p>【企画財政課】 事業への参加者を増やすため、各種団体への働きかけなど周知の方法を検討する。</p>																			

### 成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
水環境に関わる体験事業参加人数 (人)	34人 (R1)	35					35人
里山フェスタ参加者数 (人)	90人 (H29)	-					200人

## 6. 環境にやさしい暮らしの仕組みづくり

施策コード	P4601	
評価	施策の体系	施策の方針
C	①循環型社会づくりを目指したごみの減量化と環境美化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別収集・リサイクル活動をはじめ、環境にやさしい暮らしを推進するための意識啓発や各種活動への支援を進めます。</li> <li>・各地域での環境美化活動の支援を進めます。</li> <li>・不法投棄防止施策及び体制の強化を図ります。</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
町民課	<p>ごみ収集委託、リサイクル推進事業の拡充、ごみ減量化推進啓発事業、廃棄物の処理・再利用の環境整備、地球環境の保全に向けた普及啓発及び活動の推進、子どもエコ学習・意識啓発、環境美化一斉行動の実施、環境への意識改革、マナーの周知・広報、不法投棄防止事業</p>	<p>廃棄物を資源としてリサイクルすることでごみの量が削減されており、また「分別区分早見表」の作成、広報等を活用した意識啓発により、前年比で77tのごみが減少した。</p> <p>廃棄物監視員（14名）と連携した不法投棄パトロールの実施により、不法投棄数が前年の36件から10件減少した。</p>
■課題		■次年度への展開
<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル率が低い。</li> <li>・生ごみ処理機の助成利用件数が少ない。</li> <li>・地球温暖化防止に向けた町全体の取り組みが必要。</li> <li>・環境美化一斉行動の参加者が固定化しており参加率が伸びない。</li> <li>・不法投棄者の特定が出来ず直接指導が出来ないものが多い。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル収集品目やその分別方法等が町公式LINEやごみ出し早見表で検索できるため、啓発を図る。</li> <li>・生ごみ処理機、生ごみコンポストによるごみ削減効果と購入費補助について周知を図る。</li> <li>・地球温暖化防止の意識啓発を図る。</li> <li>・環境への意識を高めていただくよう、令和6年度環境コンクールを実施する。</li> <li>・各種団体と参加者を増やす取り組みを検討・実施し、防災無線やホームページ等を活用した事前周知を行い参加率の向上を図る。</li> <li>・不法投棄者を特定するための目撃情報の収集、不法投棄禁止の啓発広報及び看板設置を引き続き行い、不法投棄発生件数の減少へつなげる。</li> </ul>

施策コード	P4602	
評価	施策の体系	施策の方針
C	②脱炭素社会の実現に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光などの再生可能エネルギーの活用や省エネ活動の推進を支援します。</li> <li>・太陽光などの導入促進に加え、資源ごみの分別などによるごみ削減を今後も継続的に実施し、脱炭素社会を目指します。</li> </ul>
■主な事業		■主な成果
町民課	<p>クリーンエネルギーの活用・啓発活動の推進</p>	<p>再生可能エネルギーを活用した施設を導入した者に対し、氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金として、令和5年度は15件の導入費用の一部補助を行った。</p>

■課 題	■次年度への展開
<p>クリーンエネルギーの活用や省エネによる地球環境への負荷軽減等の情報提供や意識啓発が進んでいない。</p>	<p>クリーンエネルギーの活用や省エネ活動を推進するため、広報紙やホームページによる氷川町住宅用新エネルギー等導入促進事業費補助金の周知を実施する。</p>

## 成果指標

指標名	現状値 (R3)	R5	R6	R7	R8	R9	目標値 (R9)
ごみ発生量 (t/年)	3,253 t/年	3,078t					2,955 t/年
1人当たりの資源物排出量 (kg/年)	17.70kg/年	18.47kg					19.47kg/年
不法投棄処理回数 (回)	87回	26回					30回
太陽光助成件数 (件)	17件	11件					20件